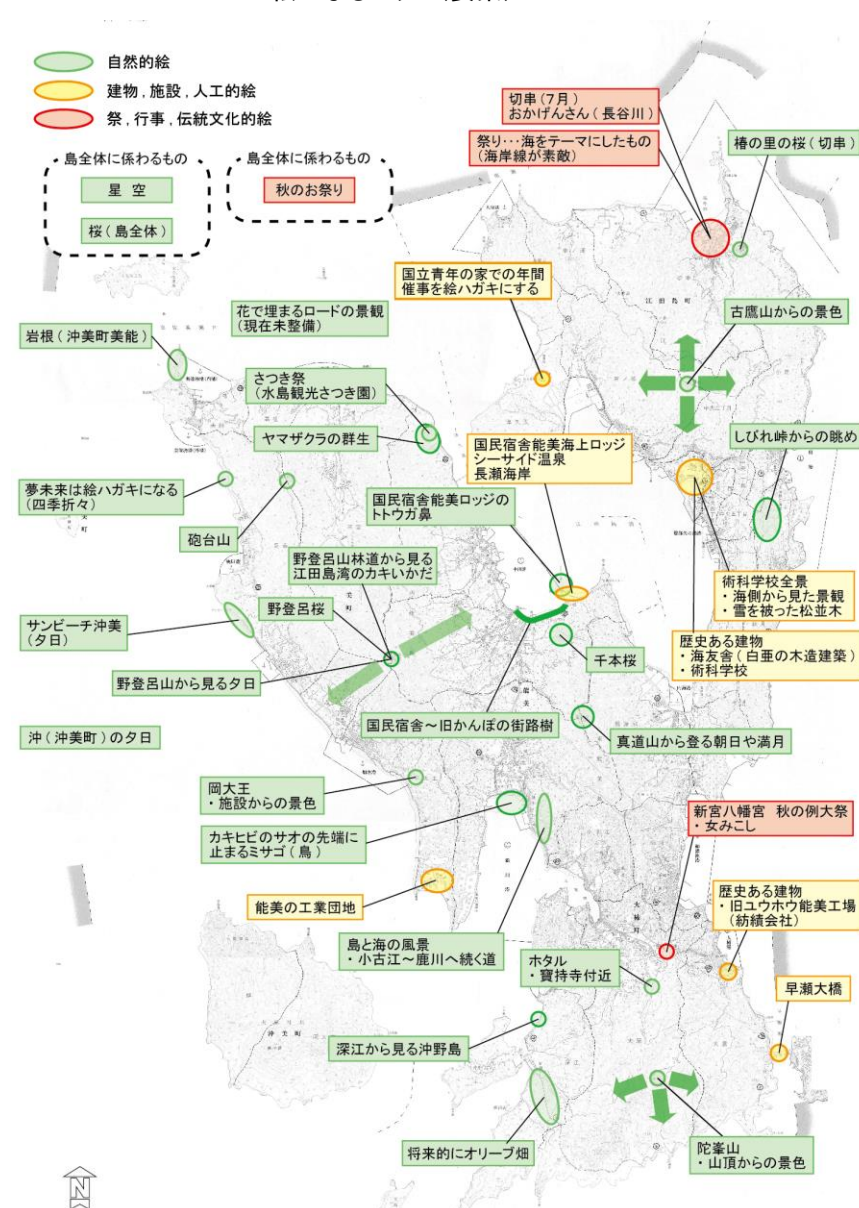


平成 26 年度 第 2 回市民ワークショップにおける主な意見 (要約版)

“え” 絵になる島

分類	テーマに沿った意見・アイデア内容
全体	・市民も再認識する, できることが重要
景観	・空き家, 古民家の活用(景観対策) ・空き地の活用
の海	・島周辺のカキ殻の処理 ・海をキレイに
改善	・登山道・海岸の清掃 ・ごみ箱の設置 ・荒地のビオトープ化 ・体験宿泊+海岸や登山道の清掃(来訪者も参加)(島の自然にありがとう)
道路沿い、 登山道	・主要道路の環境整備 ・林道, 登山道の整備 ・電線を埋める ・サイクリング向けの道路沿いの景観対策 ・竹ロード・梅ロード・ヒマワリロード
花の島づくり	・花の島をアピール ・三高の電照菊, 高田のさつき園 ・サクラソウで画風に ・道路沿いにプランター設置 ・島の花を路端で飾る(ボランティアの参加) ・家の周りに花を ・ガーデニングの家族を紹介
オリーブ	・オリーブによる景観づくり ・オリーブ搾油学習
その他	・観光スポットの整備と継続的管理 ・休耕地の整備(牛とか)
景観マップづくり	・分野ごとにリスト作成(例:神社, 寺, 建物, 川→マップ) ・江田島紹介パンフレット ・風景マップづくり ・桜のお花見マップをつくる ・季節毎のマップづくり ・地域の魅力づくりマップ ・観光客向けは多いが写真が小さい, わかりにくい
江田島アート	・えたじま建物のある風景フォトコンテスト ・季節毎の写真集 ・アーティスト・イン・レジデンス(芸術家に滞在してもらう) ・空き缶で絵をつくる ・フレームアート(自然が資源)等
お宝探し	・絵になることを全て出す ・素材集め・ご自慢風景 ・資源の情報収集, お宝探し ・動植物・広報で使用した写真を再利用
景観 100選	・絵になることをワークショップ参加者の投票で決める ・地元の人や来訪者への募集 ・写真, 要素の募集 ・商品付き投票 ・インターネットで景観ランキング
周知・PR	・HPで写真等を公表 ・個別のリンクを作る(サイクリング, 登山者向けなど) ・雑誌やテレビなどへの売込
活用	・ポストカード作成(各地域に置いて, 島全体を回ると取得) ・来訪者に四季の写真等を送る ・観光事業者との連携でリピーター確保
観光活用	・日帰りツアー(みかん, カキ, オリーブ, 温泉) ・お花見サイクリングキャンペーン ・江田島ホテル狩り ・景観を生かした観光マップ ・他の自治体と提携(観光マップ等を配布)等

■絵になるマップ(要素)



“た” 楽しめる島

分類	テーマに沿った意見・アイデア内容
情報・啓 発・案内	・啓蒙活動(宣伝) ・食べる所の紹介など(お店がわからない) ・江田島の案内誌の発行, 出した物のまとめ ・農業, 漁業の窓口を広く(知ってもらう) ・江田島市は近いということをPR ・江田島市のHPの活用(サイクリング, 体験ツアー等のPR) ・みかん狩りのシーズン等, 江田島をアピール ・島の案内人(ガイド)の育成 ・江田島のキャラクター作成 等
体験型観 光づくり	・農業体験(芋掘り, みかん狩り) ・農業漁業の体験の体制づくり(場所, 指導者) ・釣り堀 ・カキ打ち体験を企画 ・カヌーが楽しめる設備, コースの整備 ・自然活用(キャンプなど) ・地区ごとに特色(花, 菜の花, ヒマワリ) ・花のテーマパーク 等
行事・イベ ント	・地域社会の活動への参画(祭礼, 盆踊りなど) ・地域の行事を継承・活性化 ・全市のイベントを作る
ツアーパッ ク・ネットワ ーク	・体験ツアーの企画 ・ツアーパックを作る ・ヘルスツーリズム(ルート, 支援体制づくり) ・瀬戸内海クルーズ(広域観光)の拠点の一つにする ・旧海軍兵学校とタイアップした企画 ・さとうみ科学館の活用(広島市内からの小学生を対象にキャンプ+勉強会を企画)
ルート	・観光ルートの案内(時間と何本かのルート) ・島内の循環型バス(見所めぐり)
道路・交通	・アクセス(船など) ・道路の整備 ・登山道や県道, 市道の草刈り
食	・江田島らしい食づくり ・地元の食材を生かした様々な食事の場・食をつくる ・江田島版の江田島食材を使用した料理(郷土料理)を自分で作る ・釣りの提供→釣った魚を宿泊施設でふるまう ・カキ小屋(継続的に実施) ・カキ運動会の開催 ・オリーブを使った料理の提供(レストラン):魚, 猪等のジビエ ・観光客が大人数来ても食べれる所 ・クックパッドのようなもの(江田島版) 等
おみやげ・ 特産品づく り	・おみやげ(特産物)のNO1を決めるイベント ・学生に受けるおみやげ開発 ・おみやげ・特産品を宅急便で送りやすいように(サイクリング客など) ・my みそ, my 醤油づくり ・海外市場を狙った産品づくり(カキ殻粉末) ・カキ販売所がわかりにくい ・カキの殻やミカン皮を使った物をアピール ・特産品を作って, 実習体験する ・魚の干し物, さより, 野菜(ドライ) ・メバルのブランド化 ・みかん等の柑橘類(ジュース) ・ドライフルーツ(イチジク, トマト) ・地元の土や植物を使った陶器 ・竹炭製品(紙布+竹炭, 3F+竹など) ・他地域との連携で新製品開発(産業振興・観光推進課)
海・海水浴	・漁協などと協力して, 海・海底をキレイにする ・海辺や海, 観光地をキレイにする ・海水浴場を整備し, 美しい海で子どもたちも呼ぶ ・海があるのに泳げない子が多い
山・登山道	・六峰登山が楽しめる, 移動, 手段の整備 ・陀峯山, 砲台山, 古鷹山の整備 ・登山道の整備 ・地区による見所アピール(沖美の夕日, 大柿の公園・海など) ・美しい島(海, 山)景観場所の整備(車道, 山道, 休憩所)
農業・農地	・農業をしたい人を対象に, 畑の貸出や専門のサポートや休憩所, 道具もついた畑 ・空き農地(荒地など)を利用して, ミカン, オリーブ農園をつくる ・農園見学(花の体験) ・民泊をファミリー対象にして, 今後も交流(畑にキュウリや花を植えたりなど)
サイクリン グ	・サイクリングをする人の為に, 宿泊施設を作る(自転車を持ち込みできるように) ・サイクリングの人たちが水分補給などできるトイレを完備した休憩所(自転車の整備も) ・サイクリングロード・コースをつくる, わかりやすくする(見所の紹介も)
学校跡地 等の活用	・廃校をペンションに改造。その中で昔の学校時代を思い出しながらの学びを企画, 昼食は給食 ・さとうみ科学館の活用 ・空いている学校を活用して宿泊体験 ・サイクリストが泊まれる宿(1泊2日などゆっくりでき, 島にお金を落としてもらう) ・旧高田小学校の活用 ・空き地(廃校舎)などの利用で江田島ブランドの飲食店をつくる
アートのま ちづくり	・芸術家の集う地域づくり(若いIターン者の芸術家がたくさん居る)
子ども・子 育て	・海山の幼稚園を開設し, しっかりと海・山のことを遊びながら学ぶ ・就学前の子どものいる母親をターゲットにした海遊びや母親がリラックスできる企画 ・小さい子どもが遊ぶことができる公園

“じ” 自慢できる島

分類	テーマに沿った意見・アイデア内容
全体	・広島都市圏をターゲットにする
自然・景観	・海や山など自然や景色の多さ ・とにかく広くてきれいな海 ・緑に囲まれている ・定期清掃, ポイ捨てがちらほら見える
景観ポイント巡り	・沖美サンビーチ, 陀峯山 ・江田島の見て欲しいところをまとめたマップづくり ・サイクリングルートをつくる ・サイクリングで運動と共に江田島の景色を楽しむ
カヌー体験	・カヌー体験者を募集 「MIKAN マラソン」でカヌーのブースづくり(紹介・宣伝) ・カヌー体験ができる場所を増やし, 江田島を海上から見てもらう ・カヌー＋サイクリングでスタンプラリーにして, 集めたら景品が貰えるように
島丸ごと体験(農林漁自然)	・農林業体験の場の提供 ・山野草体験 ・いなかで自然が多いので耕作放棄地での草刈り体験 ・山に登れば広島, 呉, 岩国, 四国が見える眺望(パノラマ, 夕焼け)
インストラクターの養成	・体験インストラクターの育成 ・世代間交流知識の継承
フラワー＋ガーデニング	・花き団地農家 ・いちごのもぎ取り ・遊休農地でのレンゲづくり ・蜂蜜づくり ・ガーデニング情報提供 ・清掃活動。きれいになった所に花を植える(花がいっぱいの島) ・自分好みの花を合わせて, プリザードフラワー ・島の花を使ってフラワーアレンジメント体験 ・江田島の花を使って花石けんや香水など ・花の色を生かした染め物や絵の具づくり
江田島らしい食づくり	・複数の新鮮市場(地域ごとに) ・大豆うどん ・カキ料理店 ・海軍カレー, カキカレー ・お店を増やす ・カキの大豆うどん, せんべい, シチュー ・カキや小魚を合わせてご飯に合うふりかけをつくる ・出汁を考える ・大豆うどんがおいしい, もっと広めたい, 色んな店を出してアピール ・自宅で大豆うどんを簡単に作ることができる大豆うどんセットを開発 ・地域ブランド(カキ, 魚, オリーブ)を使って, 様々な料理を提案
カキの活用	・カキの養殖が盛ん ・江田島のカキの美味しさをもっとたくさんの人に知ってもらいたい
島自慢ショップ作り	・観光協会(島の駅, 道の駅)
島内案内	・サイクリストに不親切な地名と距離のみで分からない表示(地図が必要)
若者定住へつなげる	・瀬戸内海の美しい景色やのんびりできる環境, 大都市に近接 ・安い空き家の発掘 ・小学校～高校の塾を(高水準の教育環境) ・所得 500 万円(子ども1～2人で農業・漁業・観光(複合的)所得モデルを。通勤も可能) ・子育てを地域で支援
住みやすい島	・環境が良く, 住みやすさがある ・自分たちが住むかはわからないが, 住むためには観光・交流で仕事が出来れば起業したり, したい仕事近くがあれば ・江田島丸ごと体験バスの運行
高校生と旧海軍兵学校を結びつける	・旧海軍兵学校で歴史を知ることができる ・山登り(兵学校) ・観光に来るにはちょうどいいと思う

“ま” また来たい島

分類	テーマに沿った意見・アイデア内容
全体	・市外から移住している人に意見を聞いて, 実感していることを吸い上げる(ずっと住んでいる人には分からないことも多い)
情報発信	・島内のお店情報がわからない(店休日, 場所…) ・情報を聞く場所がわからない ・フェリーの船員等が観光ガイドを兼ねる ・船にパンフレットがない ・看板, 案内板がない ・桟橋や船にチラシは貼ってあるが, 使わない人は見ることがない(家族連れは車で呉経由)
マップ・HPの充実	・観光客向けのパンフレットを作成(今のパンフレットは情報の羅列で住民用にしかない) ・観光案内ガイド本の作成(観光場所, 食事処, 交通の便など) ・観光マップにグルメ情報やサイクリスト用の傾斜なども記載 ・市のHPにもっと観光情報を載せる ・南区の小学校などにも情報を提供し, 誘客を
窓口・おもてなし	・接客が良いとイメージづくり ・接客の質の向上(お店, 住民ともに) ・情報窓口の対応する人の接客は市の顔になる ・島民の感じが良いこと(あいさつが気持ちよくできる) ・島の人がりピーターを呼ぶ優しさを ・おもてなしの心得を身につけ実践する講習会を開催 ・人とのつながりが印象的に強くなっていくイベント開催(食事会など) ・島の外からの者を寄せ付けない所が江田島にも言える…
交通利便性の充実	・港に女子大生が海水浴に来ていたが, 浜までの交通がない(リピーターの可能性は低い) ・港から海水浴場までの交通がない ・交通の利便性と低料金の設定 ・船便をなるべくわかりやすい時刻に。交通の所要時間等のわかりやすさも(情報が少ない) ・イベント用のバスなど, 交通便の改善 ・リピートで来る際の割引(食事やフェリー代など)
子ども連れ対応施設の充実	・子どもが楽しめ, 遊ぶ場所(その近くに特産品売り場があれば, 子ども連れは喜ぶ) ・子育て世帯は, 庄原備北丘陵公園や福富の道の駅まで行く(遊べるのでリピーターがいる) ・田舎のメリットを生かして, 冒険できるような公園 ・家族で1日遊べる無料の公園(遊具がある公園) ・既存の公園・施設を活用する(鹿田公園にFRP製の遊具を) ・鹿川水源地のトランポリン(しかない…)
観光関連施設の整備・充実・有効活用	・宿泊施設: 学校跡地などを活用した宿泊の場, 江田島青年の家の活用 ・温泉施設: 温泉施設の整備, 家族で使える日の設定, ・能美海上ロッジ修繕・美化 ・飲食施設: 施設をある程度まとめる(温泉＋食事など), 特産品を使った食事の提供施設(カキ小屋の常時設置など), 見晴らしの良いところに食事処, 美味しい食事が出る場所, 飲食店は休みが不定期(各町でいつでも行ける所), B級グルメづくり 等 ・道の駅など: 道の駅など拠点づくり, 観光情報等を集約できる施設, サロン等接待する場所, ・空き店舗を活用して卓球などの遊べる場所づくり
体験型の充実	・体験する場などの企画・PR(潮干狩り, 紙の折り物, 竹炭工房, 陶芸など) ・夏休みの「カヌー＋キャンプ」とPR ・島でしか出来ない体験が必要 ・季節毎の果物狩り(イチゴ, ミカン) ・サイクリングロードの整備(草刈り, 段差の解消) ・トライアスロンの開催(既存マラソン大会を拡充) ・SEAtoSUMMIT のPR(カヌー, バイク, 登山)
イベントの開催	・毎月参加してもらう学校イベント, 1年間を通して学ぶ ・色んなイベント(お金がかからないイベント)をする ・少年野球大会, 少年サッカー大会
景観向上	・ゴミのない清潔な江田島に(道路の草, 公園) ・シーズンオフの海が汚い
島と山の活用	・美しい島づくり(海, 山, 道路沿いをキレイに保つ。海が汚い, 山の手入れ) ・海をキレイにして, スワンや海賊船などを浮かべて楽しめるよう ・山林を体験できる場として活用(放置竹林のたけのこ狩り, 森林浴の森作りなど) ・思い出スポット(若い頃を思い出させる場所があると良い→リピートしてくる場に)
定住へつなぐ	・住んでいる人が安全・安心に暮らしていることが良い雰囲気になる ・医療・介護の連携が必要(定住につなげるには絶対条件) ・将来への安心感があれば若い人も定住する ・夢のプランと同時に具体的な事をしていくべき(市民満足度UP) ・住民が公共交通を使わないとバスもフェリーも減っていくばかり

◆第2回市民ワークショップの実施状況

【テーマ】「未来を切り開くまちづくり」について 4班×5～8名で議論
【日時】平成26年7月5日(土) 午前の部…9:30～11:45 午後の部…13:30～15:30
【会場】大柿分庁舎 3階会議室
【参加者】46名 ～うち40歳代以下30名(65%) ※大柿高等学校の生徒8名を含む